

第 5, 6 年 道徳科学習指導案

日 時 平成30年11月14日(水) 5校時

学校名 枝幸町立山臼小学校

児 童 5, 6年 5名

授業者 教諭 ○○ ○○

■主題名 「相手の立場に立って親切に」

■資料名 「くずれ落ちただんボール箱」

親切、思いやり
相手の立場に立って
思いやりの心を持ち、
親切にしようとする
心情を育てる。

■ねらいとする価値

本当の親切とは、行為の相手を選んだり、見返りを期待したりすることなく、自分が相手を思う気持ちからの行為である。

しかし、実際は「誰かがやってくれるだろう」「あの人のことが嫌い」「目立ちたくない」等、様々な理由を並べ親切な行いをすることを躊躇ってしまう人が多いのではないだろうか。

今後、様々な人種、文化と共に共存していく力が一層求められていく。その中で互いに思いやり、親切あふれる温かい人間関係は何よりも尊いものになっていくはずである。そこで本時ではどのような場面であっても、その人の身になって考える態度、そうせずにはいられない強い感性を高めていきたい。

■児童の実態…省略

■本時のねらい

困っている人を見かけたら助けようとする心情を養う

■本時のねらい設定について

人に親切にすることは勇気が伴い、尊い行為である。しかし、時に親切は相手を傷つけてしまったり、怒りを買ってしまうこともある。すると一見「親切」とはリスクの高い行為に思え実行することを躊躇してしまう。では「親切」という行為は必要ないのか？そもそも「親切」とは何か？様々な視点から考え「それでも自分は困っている人を助けたい」という心情を養っていきたい。

■資料「くずれ落ちただんボール箱」

「わたし」と友子は、孫が崩してしまった段ボール箱を一人片付けるおばあさんに出会う。誰も手伝わぬ様子を見て2人は整理することを買って出る。しかし、そこに事情を知らない店員が現れ2人は叱られてしまう。たとえ、誰かに認められなくても、相手の立場や気持ちを考えて、誰に対しても温かく接することの大切さに気づけるようにしていきたい。

■本時のねらい

困っている人を見かけたら助けようとする心情を養う

■本時の展開

段階	教師の働きかけ（主な発問）	予想される児童の心の動き	留意点と評価の視点
分 道徳価値（の方向付け）（十	○電車内での親切エピソード →人に親切にしたりされたことはありますか？ ○その時はどんな気持ちでしたか？ ○教材を読む	・重いものを持ってあげたことがある。 ・給食の手伝い ・うれしい ・ありがとうってなる ・またしてあげたくなる。	研究の重点1 問題・課題提示の工夫 ○適宜、省略できる部分はとばして読む。
道徳的価値の追究把握（二十分）	もし自分だったらどうしたのか考えよう ○自分たちで課題について議論する ○小さな親切大きなお世話エピソード →席を譲ったけれど、怒られた等 ○もし自分だったどんな気持ちになる？ ○再び同じ場面に出会ったらどうしようか？	・助けるでしょ ・やっぱりおばあちゃん困ってるから助けるかな ・誰か呼びに行くかな ・正直自分はやらないな ・怒り MAX ・最低の気分 ・やらないな ・それでも助けるかな？ ・やっぱり呼びに行く。	○ワークシート配布 ○ワークシートに自分の考えを記入 研究の重点2 思考の定着や深まりをとらえる場面や学習シートの工夫 ○ワークシートに自分の考えを記入
道徳的価値の内面化（十五分）	○自分の経験を振り返り親切は大切なものなのか？ ○自分たちで意見を交流する ○担任の親切にまつわるエピソード	・自分は必要だと思うよ。誰か重い荷物もって大変そうな人がいるとするでしょ？そしたら、やっぱりだれかもってあげないとその人可哀そうでしょ。 ・私も必要だと思います。小さい赤ちゃんが転んだりしたらやっぱり助けてあげないと。誰も助けない世の中って怖すぎると思います。 ・正直、自分はどちらがいいかわからないです。大変そうな人がいたら自分も助けたいと思うんですけど、もし怒られたりした怖いから、絶対必要なのかって言われたら迷います。	○ワークシートに自分の考えを記入 研究の重点3 話し合いや交流場面の工夫 評価 自らを振り返り、親切にしようとする意欲が高まった。

問 人に親切にしたり、されたことはありますか？

問 その時はどんな気持ちでしたか？

- ・うれしい
- ・ありがたいってなる
- ・またしたい

課題

もし自分だったらどうしたのか考えよう。



- ・助ける
- ・やっぱり困ってるんだから助ける
- ・誰か助けを呼びに行く
- ↓ 親切は勇気がある

時にはこんな事もある・・・

例) 席をゆずったのに怒られる。

- ・腹が立つ
- ・最低の気分
- ・もうやらない

問 今回のような場面に再び出会ったらどうしますか？

- ・やらないかもしれない
- ・それでも助けるかな
- ・やっぱり助けを呼びに行く

問 自分の経験を振り返り親切は大切なものですか？

大切だからやろう

- ・重いものを持っている人がいる。困っている人がいたらやっぱり助けないといけない。

- ・赤ちゃんが転んだりしたらやっぱり助けないとダメ。逆に助けない世の中って怖い。

大切なんだけど

- ・助けたい人がいたら助けたいと思ってた。でも怒られたり、目立ったりしたらいやだから、やるかどうかは迷う。

課題



親切がいつもハッピーエンドとは限らない・・・

問 今回のような場面に再び出会ったとき、皆さんはどうしますか？

問 自分の経験を振り返り親切は大切なものですか？